

第33回情報公開委員会検討部会議事概要

令和4年4月26日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

1. 日時 令和4年3月14日(月) 10:00～11:30

2. 場所 【東京会場】

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター 2階

カンファレンスルーム206

(東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル)

【京都会場】

TKPガーデンシティ京都タワーホテル

雪柳(ゆきやなぎ)

(京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1 京都タワーホテル)

3. 出席者

部会長 西土 彰一郎 成城大学 法学部 教授

委員 浅田 正彦 同志社大学 法学部 教授

委員 追川 道代 弁護士

委員 桶田 敦 大妻女子大学 文学部 教授

委員 鈴木 秀美 慶應義塾大学 メディア・コミュニケーション研究所 教授

委員 高橋 明男 大阪大学大学院 法学研究科 教授

4. 議題

(1) 第32回情報公開委員会検討部会議事概要の機構ホームページ掲載について

(2) 開示請求の対応状況等について

5. 配付資料

部会33-1 第32回情報公開委員会検討部会議事概要

部会33-2 開示請求の最近の状況

部会33-3 開示請求対応状況一覧

6. 議事要旨

(1) 第32回情報公開委員会検討部会議事概要について

事務局から、部会33-1に基づき、第32回情報公開委員会検討部会議事概要の機構ホームページ掲載について報告し、了承された。

(2) 開示請求の対応状況等について

事務局から、部会 3 3 - 2 に基づき、令和 3 年度の開示請求対応状況について報告し、了承された。

(3) 開示請求の対応状況等について

事務局から、部会 3 3 - 3 に基づき、前回の検討部会以降に開示請求のあった 9 件の事案に係る対応について報告したところ、以下の質疑応答及び委員から意見があった。

- ・委員から、予定価格書の単価及び単価を算出できる金額について、過去に開示したことがあるのか、もし開示したことがあれば、契約業務において入札価格の高止まりを認識したことがあるか、との質問があった。事務局から、過去に単価や単価を算出できる金額について開示した実績は無く、よって入札価格の高止まりを認識したことは無い旨を回答した。
- ・委員から、「概算要求資料」ではなく「概算要求に関する資料」という対象に幅のある請求であった場合は、今回特定した文書の他に特定される文書があるのか、ある場合、開示・不開示はどのように判断されるのか、との質問があった。主管部署から、今回の文書の他に機関決定したものがあれば該当文書として特定することになること、開示・不開示の判断は文書の内容を精査して決定することになる旨を回答した。
- ・委員から、施工パッケージ代価表の換算数量について質問があった。主管部署から、換算数量は国土交通省が公開している「施工パッケージ代価表」に基づいたものである旨を回答した。
- ・委員から、予定価格書において単価を算出できる金額ではなく、数量を不開示とすれば良い場合があるのではないかと、との質問があった。主管部署から、数量は入札を実施する際に入札希望者に配布している資料に記載されているため不開示にならない旨を回答した。
- ・委員から、予定価格書において、数量が同じ「一式」となっている項目であっても開示・不開示が違う場合の判断基準について質問があり、事務局から主管部署に確認することとした。※
- ・委員から、予算内示の伝達の方法について質問があった。主管部署から、内示は口頭で伝達されている旨を回答した。
- ・委員から、会議の資料や議事録はホームページで公開していないのか、今後公開する予定はあるか、との質問があった。事務局から、公開することが決められている会議を除き、機構内部の会議の資料や議事録はホームページで公開しておらず、今後も予定はない旨を回答した。

上記の確認事項については、後日、次のとおり事務局から委員へ説明し、了承を得た。

※ 数量が同じ「一式」となる項目でも、個別に内容を確認し、入札時に公開している図面等により型番や数量といった詳細な内容が確認でき、単価が類推されるおそれがある場合は、不開示と判断している。

以 上